

事務事業名	特別支援学校通学支援助成事業	所属部	子ども政策局	所属課	子ども家庭支援課
総合計画体系	政策名	〈IV〉ふるさとを学び育つまち〈教育・文化〉		所属G	子ども家庭支援G
	施策名	〈26〉学校教育の充実		課長名	戸谷 久美子
	目的:対象	児童・生徒	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。	担当者名	金森友香
	基本事業名	〈078〉困難を抱える児童生徒への支援の充実		電話番号	0854-40-1067
目的:意図	児童・生徒	個に応じた教育・支援を受ける。	予算科目	会計: 0:1:1:5:3:6 款: 大 事 業 目: 大 事 業 中 事 業 大 事 業 中 事 業 大 事 業 中 事 業	特別支援学校通学支援助成事業 特別支援学校通学支援助成金

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (R1 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
鳥根県立特別支援学校に通学している幼児、児童又は生徒の保護者を援助し、経済的負担の軽減を図る
1.該当者に通知を行い、学校を通じて申請
2.該当要件の審査
3.該当者に審査結果通知
4.委任状の依頼、振込み口座の確認
5.支払事務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	R元年度実績 (R元年度に行った主な活動)	R2年度計画 (R2年度に計画する主な活動)			
		特別支援学校通学支援助成金の支給	左記に同じ			
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	ア 支給対象者数	人			13	15
	イ 支給対象校数	校			6	6
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	特別支援学校に通学している幼児児童生徒の保護者	ア 児童生徒数	人			2,699	2,667
		イ 特別支援学校在籍者	人			13	15
		ウ 特別支援学校通学支援助成申請者	人			11	13
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
経済的な負担の軽減を図る。	ア 申請者数に占める認定者数の割合	%			100.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)	
扶助費 1,777千円	事業費内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			5,200	
		その他	千円				
		一般財源	千円			1,777	94
		事業費計 (A)	千円			1,777	5,294
		人件費	人			1	
	正規職員従事人数	人			1,000		
	延べ業務時間	時間			4,240		
	人件費計 (B)	千円			4,240		
	トータルコスト(A)+(B)	千円			6,017		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
雲南市内には、特別支援学校の幼稚園部、小学部、中学部がない。特別支援学校への就学を希望する幼児児童生徒は、市外の特別支援学校に通学するため、本人や保護者にとって負担となっている。	令和元年度から助成金の支給を開始	保護者負担の軽減につながっている。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	見直し余地があるとする理由
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 幼児児童生徒が通いやすく、保護者の負担が減らせるよう県と協議を行いながら見直しを行っていく。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由 島根県立特別支援学校に通学している幼児児童生徒の保護者の負担が増える	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒(具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 他事業と統廃合することは困難である。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 島根県立特別支援学校に通学している幼児児童生徒の保護者の負担が増えるため削減の余地はない	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 最小限の対応を行っている。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 すべての幼児児童生徒を対象にしている。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果 A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 県と協議を行いながら、利用しやすい制度を作っていく必要がある。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
県に対して、市が実施する本事業への財政的支援の要望を行っていくとともに、保護者負担が軽減されるよう県が保護者へ支給している特別支援教育就学奨励費の支給時期等の改善及びスクールバスの拡充について要望を行っていく。																						